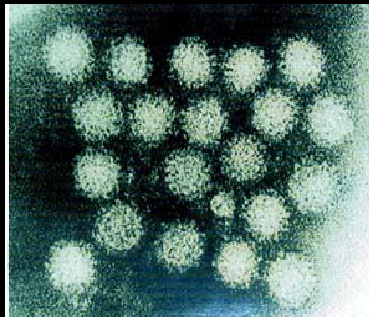


09/01/24 KIPN@新梅田研修センター

「ノロウイルスのアウトブレイクの実例」



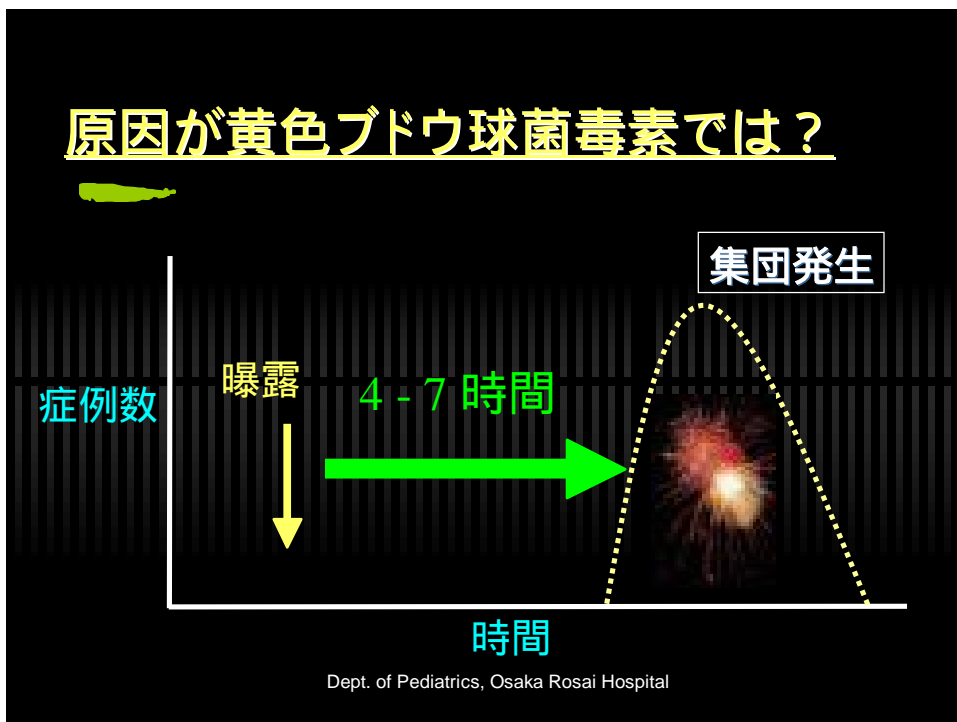
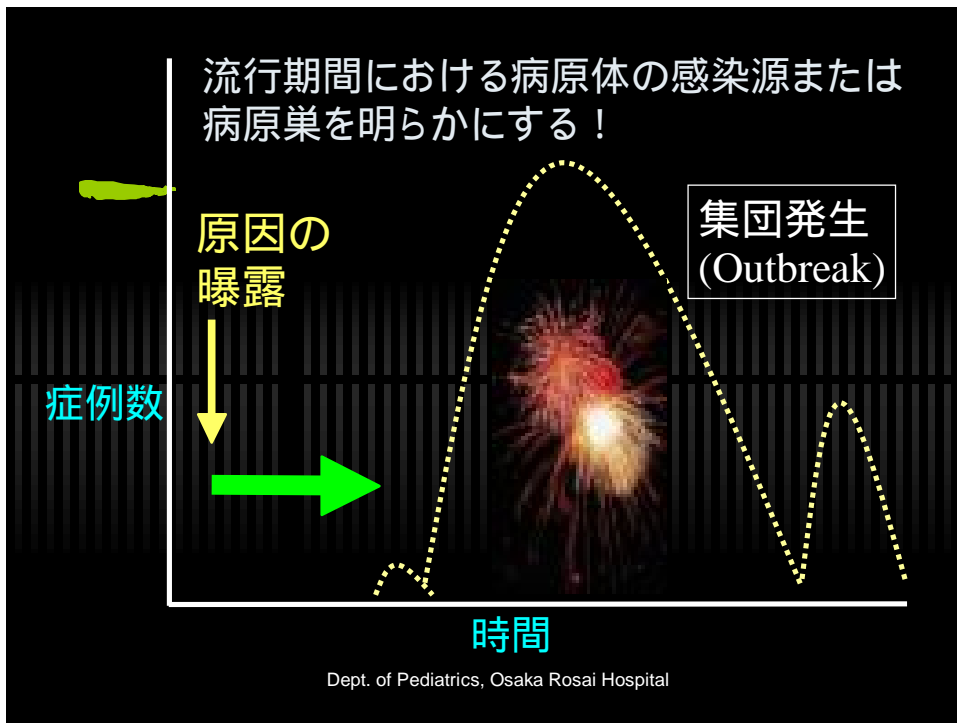
独立行政法人労働者健康福祉機構 大阪労災病院
感染制御チーム 川村尚久

Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital

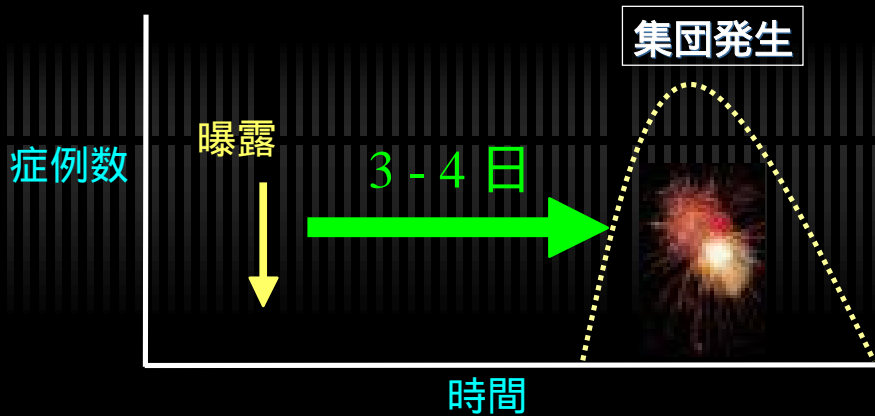
感染制御(感染対策)とは？

感染症の発生を未然に予防
することと、発生した感染症を
制圧(control)することである。

Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital



原因が腸管出血性大腸菌O157では？



Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital

そこで今回のテーマである原因がノロウイルスでは？

ノロウイルス

豊中の病院で20人が感染

対応遅れ1人死亡

高槻市豊中市内野町に所在する、豊中市立豊中病院。15日午後、同院の小児科病棟で、20人の小児がノロウイルスに感染したと判明した。同日午後、同院の小児科病棟で、1人の小児が死亡したと判明した。この死亡は、感染から約2日後に発生したと見られる。豊中市立豊中病院の小児科病棟は、15日午後、同院の小児科病棟で、20人の小児がノロウイルスに感染したと判明した。同日午後、同院の小児科病棟で、1人の小児が死亡したと判明した。この死亡は、感染から約2日後に発生したと見られる。

ノロウイルス

157人感染、女性死亡

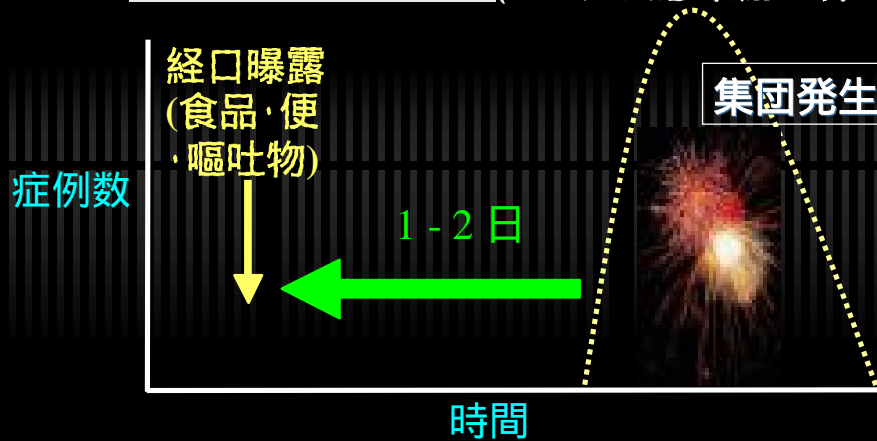
校方 特養ホームなど2施設

大阪府は15日、豊中市の特別養護老人ホームで、157人の利用者がノロウイルスに感染したと判明した。同日午後、同院の小児科病棟で、1人の小児が死亡したと判明した。この死亡は、感染から約2日後に発生したと見られる。

Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital

原因がノロウイルスでは？

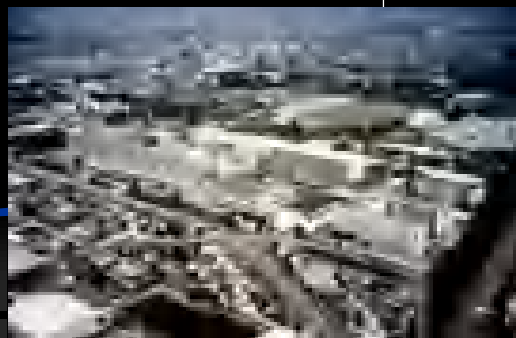
潜伏期が1～2日間とされ、その間はほとんど感染兆候を示さない。(ウイルス感染症の怖さ)



Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital

労働者健康福祉機構 大阪労災病院

1962年4月開院
経営母体: 独立行政法人
労働者健康福祉機構
19診療科
病床数: 734床
1日平均外来患者数: 1700名
1日平均入院患者数: 734名
職員総数: 815名
病院業務委託業者数: 8社 204名
病院機能評価 B認定(Ver.5)
勤労者医療
地域中核病院
管理型臨床研修指定病院
大阪府地域がん診療拠点病院
大阪府地域リハビリテーション地域支援センター



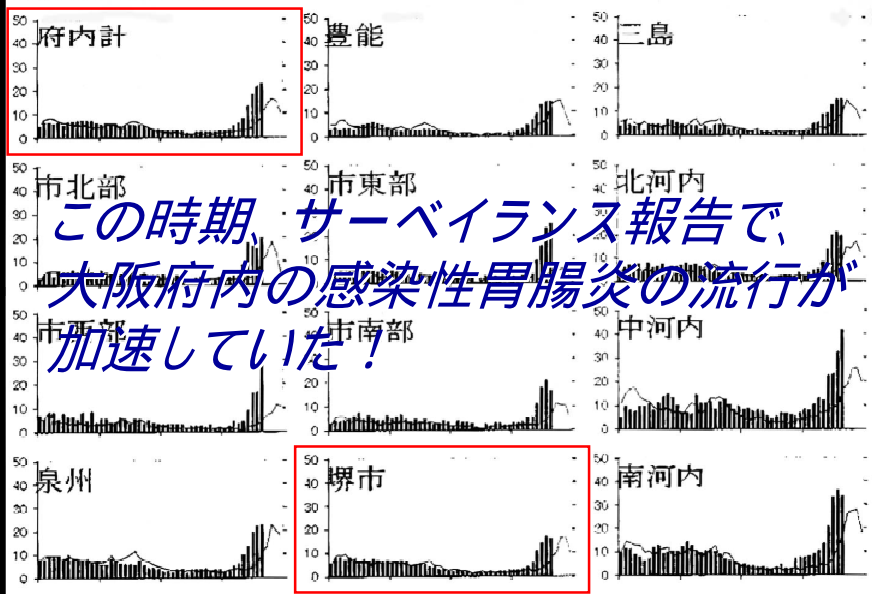
Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital

事のはじまりは？

200X年11月初旬

Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital

感染性胃腸炎



✓ **200X年11月16日**

東6階NSより11/15・/16の2日間に嘔吐・下痢の患者が5名、医師2名が発生しているとICTへ報告を受けた。

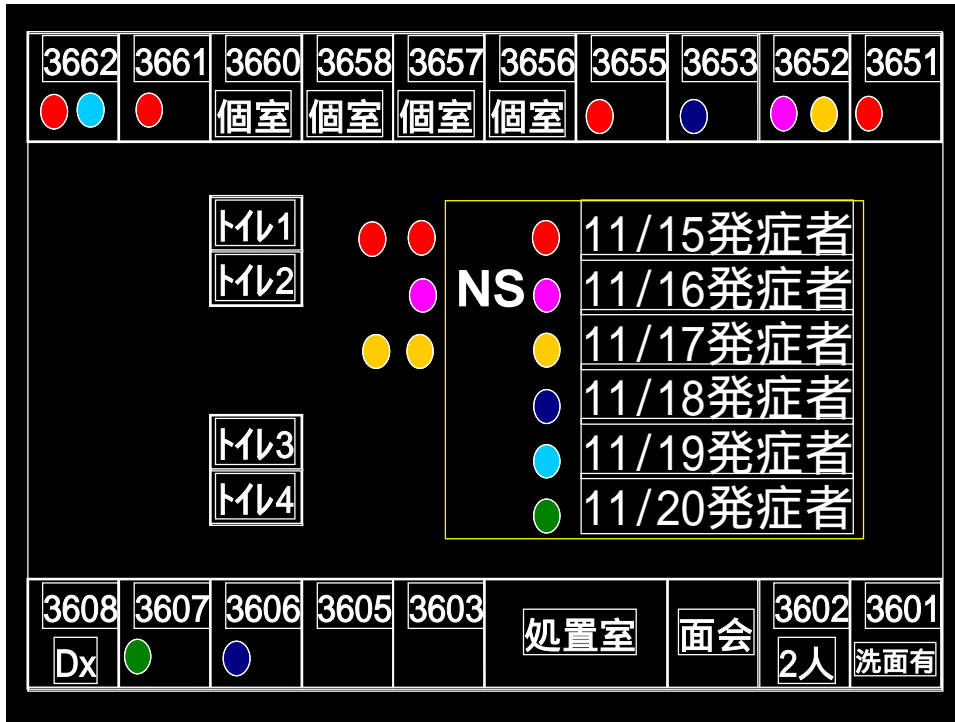
- ✓ 他病棟の発生状況を確認すると、中6階NSに2名、西6階NSにも2名の同様の症状を呈する患者が発生していた。
- ✓ 地域の感染症サーベイランス報告より**ノロウイルスのアウトブレイク**を疑って、ただちにICTは調査・対応を開始した。

Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital

発生時の病棟状況

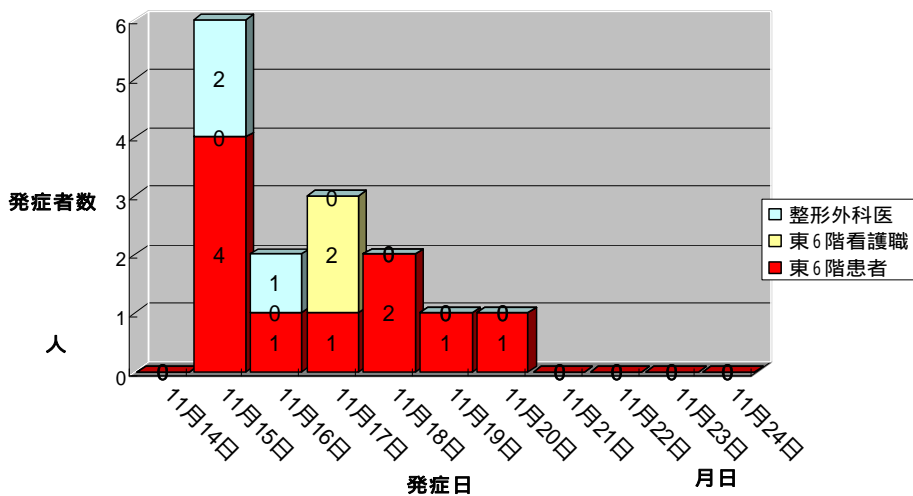
- ✓ **49床**のスポーツ整形外科単独病棟
- ✓ 特別室・個室に空床なく、感染隔離ができない。
- ✓ 患者49名中、女性が46名でトイレ(女性専用のトイレなし・車椅子トイレ4つ)を感染者・非感染者に分けることが困難であった。
- ✓ 最初4名の発症という時点で既に、他にも感染者がいると考えられたが、転室・転棟という手段がとれない状況であった。

Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital



東6階患者・職員の発症者数

(H.18/11/14 ~ 11/24) N=15



6階病棟の発症患者(15名)の特徴

- ✓ 診療科:
 - 整形外科・・・9名 (すべて東6階NS)
 - 内科・・・3名 (東6階NS 1名 西6階NS 2名)
 - リハビリ科・・・1名 (西6階NS)
 - 耳鼻科・・・1名 (中6階NS)
 - 口腔外科・・・1名 (中6階NS)
- 15名中、11名(73%)はリハビリを行っている
- ✓
 - ・ 清掃員は6階の3病棟を担当
 - ・ コインランドリーは共同使用している
 - ・ 昼の配茶は看護助手がフロアで行っている

Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital

まず何をしたのか？

Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital

対応策 1 = 感染源の探知 =

- ✓ 発症患者の共通項目から
- 1. リハビリ訓練士に発症者がいないかを 確認
- 2. 清掃員からの情報収集
- : 発症者の状況、他の発症者の有無

保健所医療対策課へ電話で報告(相談)

対応策 2 = 感染の拡大防止 =

✓ 教育

1. リハビリ訓練士を対象に状況説明と手洗いを中心とした標準予防策の徹底、吐物等の処理方法を説明
2. 東6階看護師へ対策の説明
3. 清掃員の手洗い指導
4. 「対応策」を各病棟へ配布

対応策 3 = 感染の拡大防止 =

✓院内へのアナウンス

1「ICT緊急情報」

2「ノロウイルスによると思われる急性胃腸炎を呈している職員および患者の取り扱いについて」を配布

Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital

対応策 4 = 感染の拡大防止 =

✓そして入院制限・5階の3病棟、中6、西6
:11/17~/19までの3日間

・東6階:11/17~/26までの10日間

✓アルコールが効かないため、石鹼と流水による手洗いを行い、標準予防策と接触感染対策の徹底

✓消毒薬はミルクポン(次亜塩素酸ナトリウム)を使用:
汚染したリネンや吐物には原液をかける
便座・ドアノブ・洗面所の蛇口は0.1%ミルクポン
で清拭

Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital



やはり排泄物の対策！

Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital

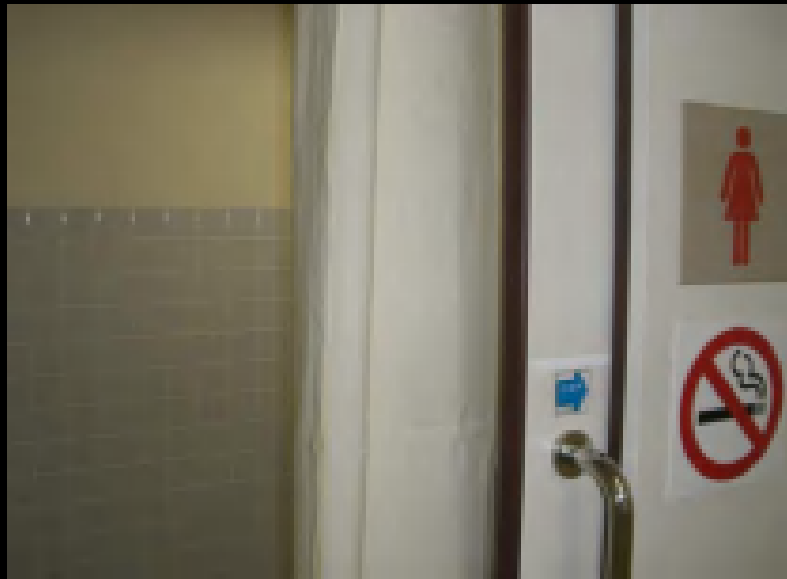
トイレ



Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital



Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital



Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital

トイレと洗面所対策

✓**トイレ**・洗面後にトイレの手すり・カーテン・ポットン・便座・手洗いの蛇口、洗面所の蛇口すべてを10倍ミルクボン液で清拭する(使用毎)。夜間帯は、自分で清拭できない患者様はコールするよう説明。

11/14発症の患者で、高アンモニア血症のためラクトコースを服用している患者の使用後の汚染が目立つ。トイレでの感染拡大が考えられた。

Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital

それでも新しい患者発生を
押さえられない！

環境の検査ができない！

Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital

対応策 5 = 感染の拡大防止 =

- ✓ 11/17 ~ /26まで5階・6階のトイレ・手すりは清掃業者が1時間ごとに清掃する
- ✓ 6階フロアの看護助手による配茶は、中止し、毎食パックのお茶を付ける(11/20 ~ /27)
- ✓ 6階のコインランドリーは、全患者使用時にハイターを使用する(11/20 ~ /27)
- ✓ 症状のある患者が洗濯機を使用する際は、看護師がミルクポン(次亜塩素酸ナトリウム)に浸漬してから洗濯機に入れる

Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital

洗濯機：洗濯曹にハイターを入れる



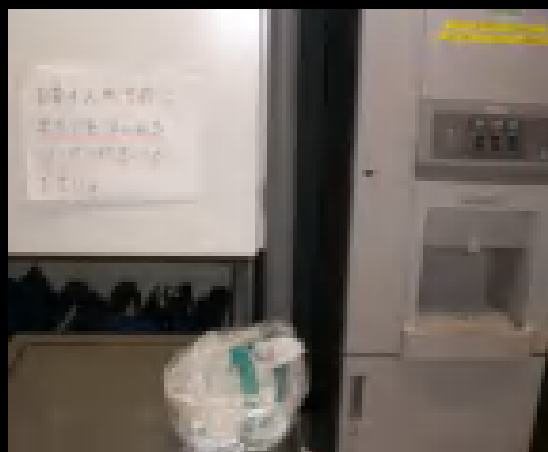
Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital

口に入るもの対策を追加

- ✓お茶は、市販のパックに変更した。
- ✓配膳時は、フェイスガード・手袋・マスクを装着し、患者毎に手を清拭した。
- ✓給茶器前に10倍ミルクポンを浸したペーパータオルを設置し、使用前にボタンと設置周囲を清拭するよう患者へ説明。

Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital

給茶器



Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital

これまでやったの対策の根拠

発症者の特徴

寝たきりの患者・術後ベッド上安静患者に発症者はいない。

発症者すべてADLが自立、車椅子・松葉杖の患者に限る。

3601(洗面設備あり)・個室以上の患者に発症者はいない。

Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital

これで本当に下記のことが言えるのか？

職員を介した感染は否定できるか？

共有スペースでの患者間での感染か？

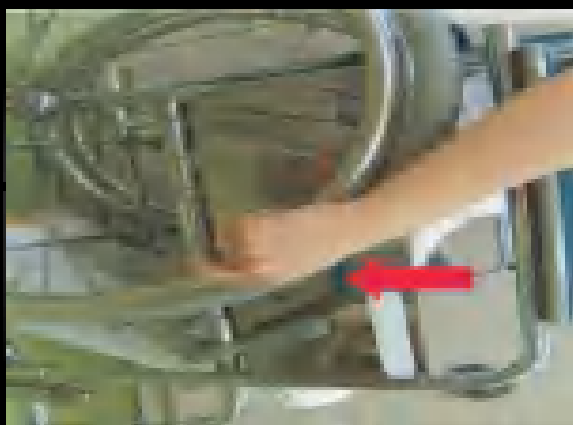
Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital

トイレ



Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital

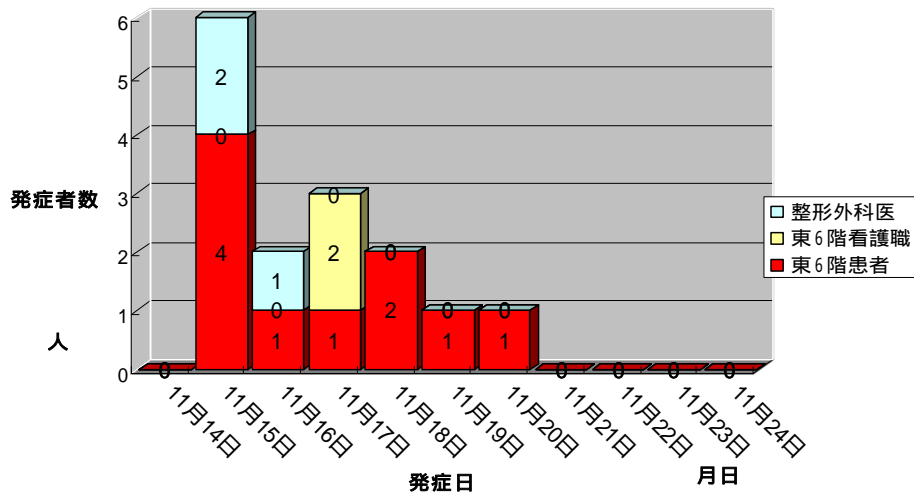
車椅子のタイヤと手すり危険！



Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital

東6階患者・職員の発症者数

(H.18/11/14 ~ 11/24) N=15



終息

✓200X年11月30日

11/21以降、東6階NSにて新たな患者が発生しなかったことより、院内感染緊急対策委員会にて東6階NSを中心とした6階フロアにおけるアウトブレイクは終息したとみなした。

感染経路の推測？

Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital

✓ 複数の院外からの持込み

11/15 発症の51号室の患者：

11/12 - /13外泊

発症はないが51号室の患者の家族：

全員が嘔吐・下痢(集団発生の直前)

3号室の面会者2名：

面会直後に嘔吐・下痢(近所でノが流行)

52号室の面会者も嘔吐・下痢あり。

✓ 高アンモニア血症の患者(CD毒素も検出)：

いつも下痢のため、他の患者より発症が早いとすれば感染源とも考えられる。

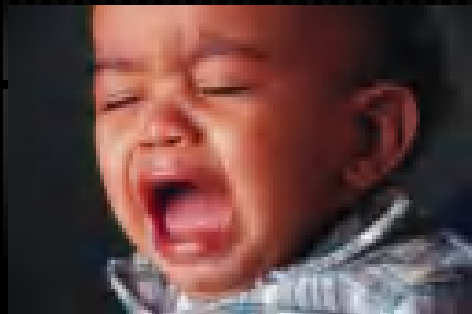
Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital

まとめ

- ✓ 感染源は特定できなかったが、ヒト→ヒト感染による複数の感染源が考えられた
- ✓ 今後の対応
 - =現在も流行期である=
 - ・日頃からの標準予防策の徹底(車椅子対策)
 - ・発症者への適切な対策
 - ・ICTへの連絡(迅速診断の導入)
 - ・日常の健康管理

Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital

ミルクをこぼしてから
泣いても・・・



Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital

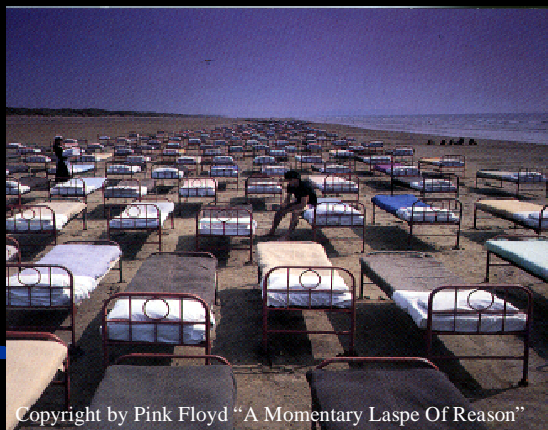
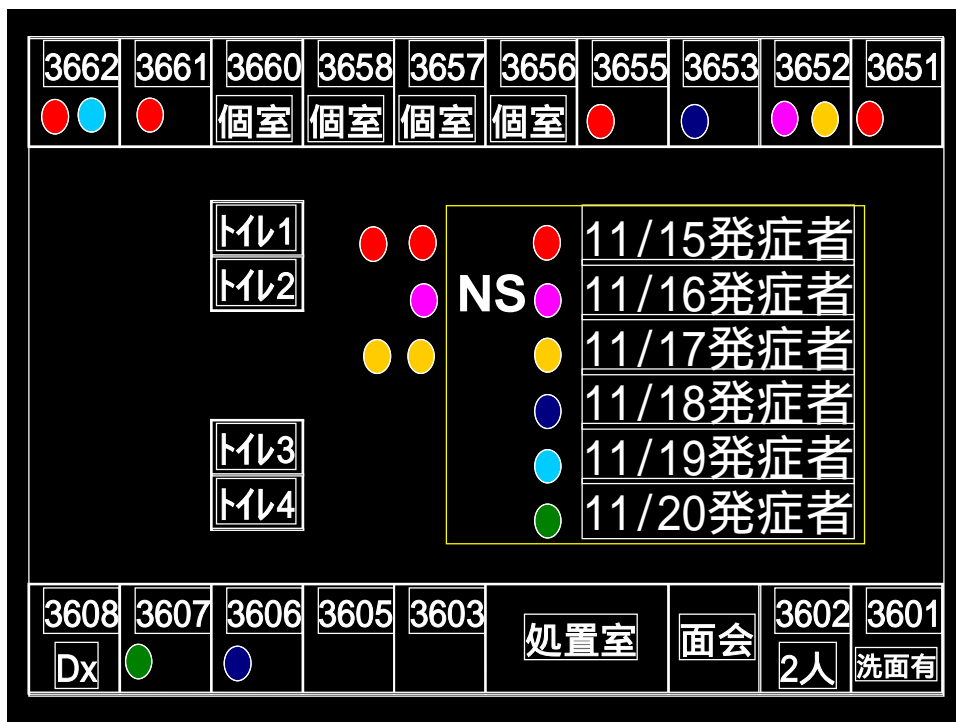
実は……恥ずかしい話ですが……

- ✓翌年も
- ✓同じ病棟で
- ✓同じ時期に
- ✓小規模ながら同様のアウトブレイクが発生してしまったのです！

Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital

One More
Noro Virus
Nightmare

Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital



Copyright by Pink Floyd "A Momentary Laspe Of Reason"

**ウイルス感染症は色々な対策をとっているのにも関わらず、
潜伏期のあとに次々と発症するので・
'ほんまにどうしたらええねん！'と思って悩んでいるICT
K-crimson@orh.go.jp 川村尚久**

Dept. of Pediatrics, Osaka Rosai Hospital